6 人口減少社会に適応する持続可能なくらし・産業づくり



持続可能で安全・安心なくらしづくり

暮らしを支える地域物流イノベーション



○ドライバー不足等により機能の低下が懸念される地域物流や幹線輸送等の効率化を推進し、本県の物流網の維持・充実を図るため、官民連携による共同配送の検証や遠隔・自動点呼システムなどのデジタル技術の活用支援、海上航路等を利用するモーダルシフトへの補助を行います。

中山間地域くらしサポートネットワーク構築



○人口減少が急速に進展する中山間地域で生活インフラ機能を確保するため、県や市町村、民間事業者で構成する協議会を設立し議論を深めるとともに、市町村による買い物や金融などの日常生活に不可欠な機能の維持・確保に向けた取組を支援することで、将来にわたって安心して暮らし続けることのできる中山間地域を創ります。

ともに支え合う地域のつながり創出



○適切な支援につながらずに課題を抱える人を地域のつながりをとおして把握し、切れ目のない支援を提供するため、新たな居場所（交流や活躍の場）を整備することで、誰もが役割と生きがいを持ち、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

医療・福祉分野における事業継続に向けた緊急支援



○光熱費や食材料費等の高騰の影響を受ける医療機関や社会福祉施設等に支援金を支給することにより事業者の負担軽減を図り、従事者の処遇改善や事業継続に向けた支援等を実施することで地域に必要な医療提供体制を確保し、社会福祉人材の確保・職場定着を図ります。

海外連携強化による外国人材確保



○令和８年５月にインドネシア共和国政府等と人材確保に関する連携合意書に署名しました。合意の具体的な取組として、県内事業者と外国人材確保に係る関係機関とのマッチングイベントの開催や、現地における本県及び県内事業者のＰＲにより、質の高い外国人材の確保を促進し、本県産業の維持・活性化を図ります。

みやざきの神楽を世界へ



○令和10年（2028年）の神楽のユネスコ無形文化遺産登録を目指し、本県の貴重な文化資源である「みやざきの神楽」の奥深い魅力を世界に発信します。古より受け継がれてきた神楽は、地域に根付くかけがえのない宝物です。その文化的・歴史的価値を広く伝え、魅力を確立することで、この素晴らしい伝統を次世代へしっかりと引き継ぎます。

みやざきデジタル施設園芸産地拡大



○きゅうりやピーマン等の施設園芸において、ＡＩが温度などの栽培環境や出荷量のデータを分析し、栽培管理の改善を提案する機能等の開発と現場実装を進めるなど、デジタル技術を活用した生産性向上により、農家所得の増加を図ります。

県内事業者の「稼ぐ力」強化支援

○物価高騰等で厳しい経営環境に置かれている県内中小企業・小規模事業者に対し、生産性向上等のための設備投資や経営力強化を支援することにより、人口減少下においても地域経済の維持・発展を支えることのできる「稼ぐ力」を備えた事業者の増加を促進します。